

平成30年度



学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

平成31年2月28日
横浜市立高田小学校

3月号

「よく学び、よく遊べ」

学校長 金子 一雄

厳しい寒さもやや収まり、日中は温かく感じる日も増えてきました。職員室前の白梅も咲き始め、もう少しでメジロが姿を見せるのではと楽しみです。

1月中旬から2月にかけて、2クラスでインフルエンザによる学級閉鎖の対応をさせていただきました。ようやく校内の患者数0人の日が続くようになり安心しているところです。学級閉鎖となったクラスでは、学習発表会や懇談会を延期するなど、予定と違った対応をさせていただきました。保護者の皆様のご協力ありがとうございました。

2月の寒い日が続く中でも、「中休み」の校庭は、元気のよい子どもたちでいっぱいです。ドッチボールで対戦している子、雲梯を行き来きしている子、登り棒に懸命に登ろうとしている子、土管の一番高いところに座って校庭を眺めている子、バスケットボールに嵩じている子、追いかっこをしている子、めだかの学校で、水中の生物を探している子、縄跳びを真剣に練習している子など、行動は千差万別ですが、多くの子が笑顔で、または、真剣なまなざしをして、運動や遊びに熱中しています。実は、冬の寒い日だけでなく、夏の暑い日も春も秋も変わりなく1年間続いた高田小学校の風景です。「中休み」の校庭には、そんな子どもたちが作り出す、活気がありながらもまったりした時間が流れています。

チャイムの合図で「中休み」が終わると、ほとんどの子は、まわりの子と競争するかのように、走って教室に戻っていきます。名残惜しそうにバスケットをして、先生に叱られる子もいますが、みんな笑顔で教室に戻っていきます。そんな子供たちを見ていると、とても平和な気持ちになり癒されます。

「中休み」の図書館も盛況です。図書ボランティアさんや学校司書さん、図書部の様々な取り組みのおかげで、本を借りる児童が増えています。「中休み」が始まって間もなくすると、本を借りたり返却したりする子の長い列ができます。貸出はバーコード管理ですので、一人当たり30秒もあれば手続きは終了してしまいますが、「中休み」が終わるまでに、列がなくなることは少ないです。

図書館の椅子に座って、本の世界に入り込み真剣なまなざしで読書している子、昼コーナーで正座して本を開く子、本棚をめくりながら何を借りようか思案している子、お友達に読んだ本のことを説明している子など、図書館でも、多くの子が「中休み」を楽しんでいます。

「よく学び、よく遊べ」という言葉がありますが、高田小の子たちはそれを実践しています。1、2時間目の授業の後、「中休み」で思いっきり遊んだり読書したりして、リフレッシュし、3、4時間目にのぞむ。そんな生活様式をもった子がたくさんいて、よい意味で、学習の原動力になっているようにみえます。

小学校では、現在、平成32年度から始まる「新学習指導要領」にそった、新しい「カリキュラム」を作成しています。新しく外国語が教科として学習するようになったり、総時間の見直しが行われたり、多くの学年で授業時間が増加します。

そのため、高田小学校でも、日課表や学校行事の見直しを行っています。来年度から少しずつ取り組んでいきますので、ご理解いただければと思います。詳しくは学校説明会等でお知らせします。ただ、その中でも、子供たちにとって大切な「中休み」の時間は残していきたいと考えています。